

# 新潟市 令和5年度 当初予算 (抜粋版)



## ■ 予算案における3つの力点

1

活力あふれる  
新潟へ

- ・都市機能の充実
- ・拠点性の向上
- ・産業全体の活性化

都市の活力  
向上

2

子どもと子育て  
にやさしい  
新潟へ

- ・経済的、精神的負担の軽減
- ・子どもの権利保障
- ・子育てを地域全体で

住民福祉の  
向上

3

活力と魅力あふれる  
区づくり  
に向けた取組の強化

- ・区独自の課題解決
- ・個性あふれる区づくり
- ・修繕要望への対応

8つのカラー  
で成長

選ばれる都市 新潟市

## これまでの取組

- ・こども医療費助成を2回にわたり拡充(H31.4・R3.4)
- ・病児・病後児保育施設を全区に展開(R2.3)
- ・コミュニティ・スクールを全校で実施(R4.4)
- ・保育コンシェルジュ・子ども家庭総合支援拠点を全区設置(R4.4)



- ・本市の令和3年の合計特殊出生率が28年ぶりに全国の値を上回る(全国1.30 新潟市1.33)など、一定の成果
- ・子育て世帯の経済的・精神的負担の軽減が求められている
- ・豊かな子どもの育ちを地域と一体となって推進



# R5主な新規・拡充の取組

子どもと子育てにやさしい新潟へ

心身ともに安心して妊娠・出産・産後を過ごせるように

**拡充** 妊産婦医療費助成の所得制限を撤廃 (87,765千円)

・所得税非課税世帯のみ→全ての妊産婦を医療費助成の対象に

**拡充** 産後ケアへの助成を政令市トップレベルに拡充 (25,622千円)

・安心して産後ケアを受けられるよう利用料金を引き下げ

多子世帯の経済的負担をさらに軽減

**拡充** 第3子以降の保育料等軽減制度を拡充 (566,149千円)

・要望の多い高校3年生までの子どもを多子計算の対象に追加  
(多子軽減計算の対象とするきょうだいの年齢上限を  
小学3年生→高校3年生)



## すべての子どもが豊かな子ども期を過ごせるために

新潟市子ども条例パンフレット  
(小学生向け・中高生向け・大人向け)

### 拡充 新潟市子ども条例に基づく施策の推進 (9,843千円)

- ・子どもからの相談体制を充実させ、子どもの権利擁護や意見表明及び社会参加を促進



### 新規 ヤングケアラー・コーディネーターを新たに配置 (6,714千円)

- ・ヤングケアラーへの理解促進のほか、当事者や家庭を適切な福祉サービスにつなぐ機能を強化するため、ヤングケアラー・コーディネーターを配置

新潟市子育て応援キャラクター  
ほのわちゃん

### 拡充 ICTを活用し、こどもたちの安心・安全対策を強化 (149,985千円)

- ・保育園等の安全対策、事故防止対策に必要なICT機器の導入を補助

(2月補正)



## 子どもたちの豊かな育ちを地域と一体となって推進 (5,000千円)

### 新規 子育てを応援するまちづくりの推進

- ・すこやかパスポート協賛店や赤ちゃんの駅登録店などの民間事業者等と連携し、子育てにやさしい新潟市としての機運醸成や子育て情報の発信を強化

